



研究会・研修会等への
報告者・講師の派遣
(平成27年7月～9月)

○「平成27年度事業計画概要説明
会」
主催 北海道地域農業研究所
とき 平成27年7月15日
テーマ 道・市町村と農業団
体が連携した地方創生
講演 竹林 孝
(当研究所・特別顧問)

○「平成27年度総会・記念講演
会」
主催 北海道亜臨界肥料流通
機構
とき 平成27年7月18日

テーマ TPPと農協改革は農
業・農村をどこに導く
か？
講演 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)

○「平成27年度JICA『アフリ
カ地域アグリビジネスの振興と
農村開発(A)』」
主催 JICA
とき 平成27年7月30日
テーマ 日本における農産品の
流通
講義 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)

○「平成27年度JICA『農民参
加による農業・農村開発(A)』」
主催 JICA
とき 平成27年8月12日
テーマ 北海道における地域開
発・振興
講義 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)

○「平成27年度JICA『モザン
ビーク国別研修・農村振興技術
セミナーコース』」
主催 JICA
とき 平成27年8月19日
テーマ 卸売市場の仕組み
講義 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)

○「平成27年度JICA『農民参
加による農業・農村開発(A)』」
主催 JICA
とき 平成27年8月26日
テーマ 本道の6次産業化によ
る地域づくり
講義 黒澤 不二男
(当研究所・顧問)

○「平成27年度JICA『農民参
加による農業・農村開発(A)』」
主催 JICA
とき 平成27年8月27日
テーマ 農業経営の特徴と農産
物・生産資材の流通の
仕組み
講義 飯澤 理一郎

○「TPP講演会」
主催 JICA
とき 平成27年8月28日
テーマ TPPと北海道経済、暮
らしへの影響について
講演 飯澤 理一郎
(当研究所・所長)

○「平成27年度豆類需給安定会議
・生産流通懇談会」
主催 日本豆類振興会・北海
道豆類価格安定基金協
会
とき 平成27年9月3日
テーマ 道産豆類の持続的な需
給確保体制について
コーディネーター
黒澤 不二男
(当研究所・顧問)

○「組合員理事学習会」
主催 生活協同組合コープ
さつほろ
とき 平成27年9月5日

テーマ 北海道産農産物の商品
化とTPPの行方

講演 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「平成27年度栃木県農協経営担
当者セミナー」

主催 J A 栃木中央会

とき 平成27年9月8日

テーマ J A の自己改革をどう
進めるか

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平成27年度北海道マテックス
農材会総会」

主催 北海道マテックス農材
会

とき 平成27年9月10日

テーマ 漂流するTPPと北海
道農業の進路

講演 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

講演 鷹田 秀一

(当研究所・研究次長)

○「地域金融リサーチ&コンサル
タント研究会第3回フォー
ラム」

主催 地域金融リサーチ&コ
ンサルタント研究会

とき 平成27年9月11日

テーマ 地域資源を生かした北
海道の観光振興（農業
・食と観光の連携）

講演 竹林 孝

(当研究所・特別顧問)

○「日本土壌肥料学会二〇一五年
度京都大会」

主催 日本土壌肥料学会

とき 平成27年9月11日

テーマ テンサイのカリウム施
肥、リン酸施肥及び栽
培密度の違いが収量・
根中糖分及び製糖品質
に及ぼす影響について

講演 鷹田 秀一

(当研究所・研究次長)

○「第35回サイエンスフォーラム
in さっぽろ」

主催 サイエンス・コンソー
シアム札幌

とき 平成27年9月26日

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

テーマ 北海道農業に托す夢
その現在と将来

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

講演会の講師や通訳などでお困りでしたら



当研究所では、希望されるテーマに合わせ
て講師を選定し、仲介・派遣業務も行って
います。

また、ロシア語が堪能なスタッフによる
通訳・翻訳業務も受け付けていますので、
お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

連絡先：一般社団法人 北海道地域農業研究所

Tel 011-757-0022

Fax 011-757-3111

E-mail: office47@chiikinouken.or.jp

編集後記

●出生率の低迷とともに、人口減少が大きな問題となっている。昭和ひとけた世代は、兄弟が五〜六人なんてザラであり、七〜八人だったという話も聞く。親の苦労も相当であったと思うが、よく食べていけたと感心する。今は一〜二人が一般的で、三〜四人は珍しくなった。数でみれば負担は減るが、にぎやかさも減っている。やはり家族や人の集まりは多い方が楽しさも大きくふくらむ。幸福度ランキングなるものでは、一位、二位、三位は福井、富山、石川県と北陸勢が占める。上位を期待した北海道は驚きの四三位である。

●新しい食品の機能性表示制度がスタートした。従来の機能性表示は、国が個別に認可したトクホや栄養機能食品に限られていたが、

生鮮食品を含めたすべての食品で科学的根拠に基づいた機能性を表すことができることとなった。届出制であり事業者責任によるが、ミカンやお茶などで近々表示品が販売されるようである。国産農畜産物の新たな魅力や評価アップで拡販を期待したい。

●あれほど国民中が沸き立った二〇二〇年東京オリンピックの開催決定。メインスタジアムやエンブレムですっかりミソをつけてしまった。すでに何億もの無駄金を費やしており、味噌をつけたぐらいでは治らないと思うが、見栄を張ることなく、おもてなしの心を思い起こし、日本ならではのオリンピック開催を目指して欲しい。

●北海道新幹線の開業が来年三月二十六日に決まっ

た。カウントダウンの始まった函館や北斗市では大いに盛り上がっている。一方JR留萌線は来年をもって廃止となる。日高線も一部運休が続いており、回復の目途は立っていない。室蘭線の小幌駅は、秘境駅人気で何とか廃止を踏みとどまってはいるが、重要な交通インフラとして網の目のように張りめぐらされていた鉄路は、だんだん太く短くなるようだ。

●朝晩めっきり冷え込み、ずいぶん日暮れが早くなってきたと思っているうちに、すっかり中秋である。麦は豊作で、他作物もまずまずの出来のようで、豊稔の秋を満月とともに実感できる年になりそうだ。一仕事あとの一杯も、自然と杯が進むことだろう。どんな肴よりも豊作の喜びが最高のマリージュだ。

(片岡 省二)

DATA FILE

関連事項 / DATA

株式会社グリーンズ北見
〒090-0008
北見市大正284番地
☎ 0157 (36) 3611 (代)
Fax 0157 (36) 2800

釧路市役所
〒085-8505
釧路市黒金町7丁目5番地
☎ 0154 (31) 2552
Fax 0154 (31) 2553

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail: office47@chiikinouken.or.jp